

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	啄木特別展開催事業			事業コード	2394
担当課等	所属名	商工観光部 ブランド推進課	担当係名		
	課長名	商工観光部 ブランド推進課	担当者名	菊池 郁	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード 4
	基本事業	観光地づくりと観光客の誘致	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 3目 盛岡ブランド推進事業(010-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒(開始年度 20年度～)					
事務事業の概要	盛岡ブランド推進事業4つの主要プロジェクトの一つ「先人と文化振興プロジェクト」として、石川啄木の更なる顕彰を目的として始められた。					
根拠法令等	この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか) 平成18年にブランド推進計画を策定し、先人と文化振興を主要プロジェクトとして啄木顕彰を行うことした。					
	この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか 平成24年に啄木没後百年を迎えるため、実行委員会を立ち上げ、啄木顕彰を進める。					
	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか変化したか。今後の見通しはどうか 平成24年に啄木没後百年を迎え、啄木顕彰や啄木理解への絶好の機会を迎える。					

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民・観光客	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 観光客入込数	単位	万人回
				B. 人口	単位	万人
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 石川啄木記念館において、企画展『一握の砂を示しし人』を開催した。  23年度計画(23年度に計画している主な活動)  啄木百回忌にあたり、偲ぶ会を行う。また、24年の没後百年に向けた事業を行う。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 開催日数	単位	日
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	啄木に対する市民の認知度を充実すると共に、観光客を誘致する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 観光客入込数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	万人回
				B. 来場者数 【指標の性格:●上げる ○下げる ○維持する】	単位	人
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	訪れてみたいと思ってもらう	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	アンケート調査「盛岡に行って見たい、訪れてみたい」と思う割合(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	観光客入込数	万人回	472	472	460	444	472	478	26年度 490
対象 指標B	人口	万人	30	30	30	30	30	30	27年度 30
対象 指標C									年度
活動 指標A	開催日数	日	46	30	30	92	30	90	24年度 90
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	観光客入込数	万人回	472	472	460	460	460	460	29年度 490
成果 指標B	来場者数	人	466	550	600	500	600	600	24年度 600
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	300	300	200	200	1,000	1,000	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	300	300	200	200	1,000	1,000	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	300	300	200	200	1,000	1,000	*****
	延べ業務時間数	時間	10	12	12	12	20	20	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	40	48	48	48	80	80	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	340	348	248	248	1,080	1,080	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 石川啄木に対する理解度を向上させることは、啄木に対する興味を深め、生誕の地である盛岡に住んでみたい・訪れてみたいと、選ばれる街盛岡に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 啄木顕彰のための施設として啄木記念館があるが、スタッフが十分にいないため啄木顕彰について十分な活動が行えない状況であり、市も併せてPRを行うべきであり、記念館等と共同で行うことで、より大きな効果を上げるものである。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市民と観光客を対象とした情報発信であり妥当である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 石川啄木に対する理解度を向上させることは、盛岡ブランドの理解につながり、盛岡に住んでみたい・訪れてみたいと、選ばれる街盛岡に結びつくものである。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 企画展を実施することにより常設展示よりさらに深い展示を行うことで、啄木への理解が進み、顕彰が深まる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 啄木没後百年のイベントに向けて、さらに多くの市民・観光客に啄木理解を促進する必要がある、市の支援は不可欠である。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 平成24年の啄木没後百年に向けて、さらに顕彰事業を行うことが必要になるので、事業費の削減は難しい。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 他の団体と連携して事業を行っており、これ以上の人件費の削減は難しい。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 広く市民・観光客に向けられたものであることから、公平・公正な事業である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 入館料等を徴収しており、公平・公正である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること                  新しい資料による話題提供や、学芸員による解説を丁寧に行うなど、来場者に満足感を与える工夫が必要である。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか?                  (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む)                  啄木関連の情報収集と学芸員の業務量増大に伴う他事業への影響が懸念される。複数人による専門的な対応が出来るよう体制を整える必要がある。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ② 有効性      ○ 妥当              ● 見直し余地あり                  :                  ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>特別展の開催や話題提供に取り組んでいるが、なかなか入館者の増加につながらない。没後百年記念事業とともに入館者を増やし啄木顕彰につなげたい。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								
									
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>特別展を開催してもなかなか入館者の増加につながらないものの、解説や関連イベントの企画等の検討をする。</p>									